

平成19年度 事務事業評価表		担当	教育委員会 学校給食課		内線等	66 - 1800	
事務事業名	衛生管理推進事業			事業コード	1. 一般事務事業（ソフト事業）		
根拠法令等	学校給食法			A法令			

総合計画での位置付け

基本目標	4. 豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	学校教育
------	---------------------	-----	------

事務事業の内容

対象（受益者）	学校給食業務に従事する調理員等に対し
手 段	研修会・講習会に参加させ、学校給食の目的、意義の自覚を促すことにより
想定する成果	衛生的で安全な学校給食の提供を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度計画	
県主催衛生管理研修会参加職員数	1回	2人	-	-	1回	2人
東三河衛生講習会参加職員数	1回	18人	1回	16人	1回	17人
調理員技術講習会参加職員数	1回	2人	1回	2人	1回	2人

成果指標

成果指標名	市職員参加率
成果指標の説明	研修会等参加職員数 / 研修会等対象職員数

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		41%				33%				41%			
成果指標													
事業費	事業費	5,714				5,791				5,541			
	人件費	3,582				4,686				4,404			
	(人数)	正規	0.4	非常勤	0.2	正規	0.6	非常勤	0.0	正規	0.5	非常勤	0.2
	合計	9,296				10,477				9,945			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	9,296				10,477				9,945			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	毎年の学校の夏季休業期間を利用し、県などの主催講習会等に参加している。
経済効率性	2	2	2	2	市の近隣会場で衛生管理教育として日常業務の一環として行っている。
事務効率性	2	2	2	2	毎年定期的に行っているため、日程調整は難しい。
必要性	2	2	2	2	調理員等の衛生教育の一環として行い、知識等の向上を図ることは、衛生的で安全な学校給食の実現に不可欠である。
小計	9	9	9	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	安全な学校給食をつくるためには、調理員の衛生への意識向上は必要不可欠である。
合計	11	9	11	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	衛生講習会、研修会等の受講機会を提供するだけでは、給食に従事する者の衛生管理が充分でない。
------	---	---	---	---	-----------------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
調理員等に当施設等の衛生管理における問題点を年度当初に列挙させて、この中で改善方法を検討してもらい、1件でも実現させる課題をもたせ意識の向上に努めたい。
上記改善点の実施状況
調理員全員のミーティングを行い、意見を出し合って今後の方針を決めている。

今後さらに改善すべき点

一部にマンネリ化もみられるので、衛生管理の基本を再度全員で確認する。

平成21年度予算に反映する項目

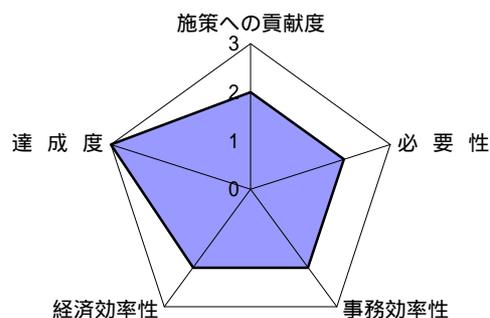
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点